

郡上長良川ロータリークラブ

第46期クラブテーマ

子供たちの未来へ

会長：松森正和 副会長：藤代昇 幹事：佐藤備子

例会日：毎週水曜日 18:30~ (6-9月 19:00~)

例会場及び事務所：白鳥町農業指導研修センター2F

TEL：0575-82-3822 FAX：0575-82-5191

E-mail：gsrca@abelia.ocn.ne.jp 発行：クラブ会報委員会

第2124回 令和5年9月20日(水)

本日の行事 クラブフォーラム(次期補助金事業検討)

2023-24年度

松森正和会長

補助金小委員会 別所 孝晃 様 加入

本日のお客様

郡上八幡 RC 西村肇様

* 米山奨学会よりハイライトよねやま 282号

幹事報告

佐藤備子幹事

* 関 RC より ゴルフ大会組合せ表

* ガバナー事務所より 地区役員変更の案内

* 美濃 RC より例会変更のお知らせ

新クラブ推進小委員会 北川宥智様

* 郡上八幡 RC より週報拝受

第2123例会報告

会長挨拶

2023~24年度 松森正和会長

皆さん今晚は、先日の特別支援学校での補助金事業に参加されました皆様、ありがとうございます。

本日は私の友人お話をしたいと思います。

今年の6月頃に東京の方にいます友人から電話があり、別の友人が亡くなったと噂で聞いたが本当かどうか聞かれました。亡くなったと噂された友人は八幡町出身で、卒業してからは埼玉の方に住んでいて割と大きな企業に勤めていたので、ほとんど会っていない友人でした。郡上に住んでいませんし、分からないという話をして電話を切りました。多分このまま何もしないと噂で終わってしまうと、その日にその友人の家を訪ねました。聞きづらい事でしたが、家族から昨年の8月に亡くなっており、単身赴任でオランダに行っていて、コロナで中々帰ってこれず、向こうで亡くなってしまったという事でした。八幡には母親しか住んでいませんが、とても残念がっていました。また親父さんが去年の12月に亡くなって、本当に可哀そうでした。これは同級生に連絡しなくてはと、八幡高校の同級生に連絡をし、集まった人で八幡の家へお参りに行きました。今はLINEがありますので、繋がっていなかった高校3年生の時の同級生とLINEで繋がって、会うことが出来るようになりました。本当にその子は頭のいい子で、誰にでも優しく良い子でした。同級生で亡くなった人は何人かいますが、仲良かった人が亡くなったのが初めてでした。会長になる前でしたが、しばらく会っていない友達にはなるべく会うようにしたいとつくづく思い、お盆に静岡にいた友人に久しぶりに会いました。今52歳になりますが、辛い事や嫌な事もありますが、頑張っていきたいとつくづく思います。

僕は20年間使っている名刺入れがありますが、その名刺入れがその友人に貰ったものでした。これからも大切に使い続けたいと思います。

外来卓話(創作オペレッタについて)

郡上市教育委員会教育課 小椋徹二様

皆様こんばんは。郡上市教育委員会の学校教育課から参りました小椋徹二と申します。私は令和2年度までは白鳥小学校に勤めておりました。基本的には小・中学校の教員をしておりますが、縁があって今は教育委員会の仕事をさせていただいております。令和3年度からオペレッタの実行委員会をスタートしております。

11月11日土曜日に本公演を迎えます、創作オペレッタ「東氏ものがたり」の私の知っている範囲のこれまでの取り組みや、来年度開校します大和小学校の学校作りを関わらせながら話したいと思います。



オペレッタとは、小さなオペラとも呼ばれ、セリフ、音楽で構成される音楽劇です。創作オペレッタ東氏ものがたりは、東氏の歴史をモチーフに、合唱、独唱、セリフによる会話、和歌のひこう、音楽の演奏、映像と音楽を組み合わせた総合的な音楽劇として構成されています。岐阜県内にもオペレッタを取り入れる事を学校の文化として位置付けている学校が何校かあります。

創作オペレッタ東氏ものがたりですが、郡上東氏 800 年、古今伝授 550 年祭の一環として行われます。

また同時にオペレッタを演じる大和の小学校では、令和 6 年度の大和小学校開校に向けて 4 つの小学校の統合準備が行われている所です。このような歴史の節目と新しい学校の創設が重なった時期に、ふるさと学習郡上学として、東氏の歴史と文化を総合定期に学ぶことが出来る創作オペレッタ東氏ものがたりを計画させていただきました。

オール郡上で地域一丸となって取り組んでいるこの活動について紹介させていただきます。

創作オペレッタ藤氏ものがたりの取り組みを通して願う事は、

1. ふるさとへの誇りと愛情を育てる事。
 2. 表現力を高め、不文を豊かに表現できるようにすること。
 3. 言葉や歌を大切にしようとする心や態度を身につける事。
 4. 令和 6 年度開校の大和小学校での人間関係の基礎を築くこと。
- 4 番目の人間関係の基礎を築くことについてお話させていただきます。

皆さんご存じのように大和の 4 つの小学校が一つになります。学校の統合の背景には、小規模における課題があります。もちろん小規模校ならではの良さも沢山あります。担任が 1 人 1 人の性格や考えについてよく把握して指導が出来たり、アットホームな雰囲気や授業が出来たりと沢山ありますが、反面、人間関係の固定化や、授業等で多様な意見や価値観に触れる機会が少なくなったり、教員の専門性の確保が困難になるという問題点が挙げられるようになってきました。学校を統合することで、現在、大和西小と第一北小学校にそれぞれ 2 つある複式学級が解消されたり、1 学級 20~30 人程度の学級が作れる。学年で 2 学級作れるようになります。多くの仲間と学ぶことで多様な考えに触れる機会が増えたり、学級数の増加によって教職員や加配教員が増えることで、専門性の高い指導に可能になっていきます。

このように子供たちの学びをより豊かなものとし、将来、社会の中で自立して生きていける力を育むために、学校の適正規模について検討し統合という事になりました。

3 つの学校は場所がかわるという事で、子どもたちの不安が大きくなっていくかなと予想しています。そこで教育委員会としましては、令和 6 年度の大和小学校のスタートを 0 からのスタートではなく、それぞれの学校の児童が事前に関係作りをしておいて不安を解消したり、統合への心がまえ作りをして、環境の変化への順応を測れるのではないかと考え、その活動の一つとしてオペレッタ東氏ものがたりを企画させていただきました。4 校の児童が同じ目標を持って、共に助け合えれば活動する経験すること、それによって互いの理解を深めて、新たな学校のスタートに役立ててほしいと考えています。

また東氏ものがたりで願うことは、故郷への誇りと愛情を育むことについては、郡上市ではふるさと教育に、郡上学というものがあります。それぞれの小中学校が郡上の自然や歴史から学び、その良さを実感したり、なまんだことを発信したりする学習を行っています。大和の 4 つの小学校でも、これまで先生方や地域の方々との協力によって、特色ある教育を作り上げてきました。今回、大和の小学校が一つになる事を受けて、これまでの各小学校で築かれてきた特色ある郡上学や、地域の人との繋がりを組み合わせながら、新しい大和小学校における郡上学を見出していけるようなカリキュラムの準備をしています。

地域での直接的な体験や、魅力的な人との出会い、知識や技能・経験や知恵、今後の思いや考え方などに触れることが出来る郡上学になる様、現在作成中です。そして郡上学の中に創作オペレッタ東氏ものがたりも含まれています。

6 年生は 5 年生の時から古今伝授の里フィールドミュージアムの松原さんを講師に迎えて、大和の町おこしの事について学習をしてきました。40 年前の大和の姿を話されたり、東氏の事や古今伝授のことについてお話くださり、大和の歴史や町おこしに尽力された方々について学びました。このお話を元に和歌を大切に、平和な世を目指した東氏の存在を知り、その歴史を元に和歌で町おこしをした人々との存在を知って、地域の歴史に興味や関心、誇りを持つことが出来たと思います。

このような学習をした下地があるうえで、6 年生は創作オペレッタの活動に取り組んでいるところです。またこのオペレッタでは、地域の人と作り上げることを大切にしています。コミュニティースクールという学校の在り方が大切にされているところですが、オペレッタの取り組みはまさに地域の方々との協力を得ながら、子どもたちにとって、よりよい教育になるような活動になっています。まだ活動の途中ですが、地域の方々にも喜びや生きがいとなって、更には地域の支えて行く人作りにも繋がっていくよう願っているところ



です。

創作オペレッタの取り組みについては話したいと思います。令和4年度から創作オペレッタの練習がスタートしました。各校に合唱のCDを配布して練習したり、シナリオの読み込みをしてきました。一人一人の表現力を高めるために文学座のワークショップを行ったり、オペレッタに関わる作者の思いを知る学習をしてきました。ワークショップには東京から文学座の富沢さんを講師に招きました。講演や練習の忙しい中を縫って昨年3回、今年度は6月に1回、ワークショップを行っていただきました。仲間とコミュニケーションを通して、楽しみながら学んでいきます。相手の目を見て伝え合う事、全員がその場に集中することなどを学びました。毎回、講師の先生が、想像力、対話力、表現力が大事だという事を教えて下さいました。集中と解放は、その場に集中することの大切さですとか、ずっと集中するのではなく、楽な気持ちで参加する良さということについても同時に教えて下さいました。

オペレッタを支えて下さる地域の方々との出会いの学習ですが、講師として学校に招き、その思いに触れる学習を行っています。映像制作担当の三浦さんが、創作オペレッタの為に作った映像をもちいて、苦労された事や、オペレッタにかけける思いを話して下さいました。

作曲音楽担当の渡辺さんにも来ていただき、制作されて苦労された話や思いなど話していただきました。演じる子供たちへ期待していることなどお話をしてくださり、子供たちの意欲を高めることになりました。

4つの学校の児童が同様の授業を行って来て、同じことを学んできたことでオペレッタに向かうという事で活動をする中で配慮してきました。

衣装や小道具を担当して下さった布あそびの会の方にも協力いただき、制作中の衣装等を見せていただいたり、試着させていただきました。制作時の苦労や工夫、思いなど語って下さいました。この時点では配役はきまっておらず、衣装を着た事で、意欲が出てキャストになりたいという子も出てきました。

令和5年度の取り組みについてですが、11月11日に公演を迎えるという事で、大和総合センターに4校集まったの練習が始まりました。今までメインキャスト練習を5回、4校5、6年生集まったの合同練習を2回行っています。今年2月にオーディションを行い、メインキャストを決定致しました。

東氏常縁、つねより はりとし のうち つねよりの妻の4つの役はそれぞれ3人で分担して演じます。

そこに足利義政と宗祇を加えた14名がメインキャストとなっています。大和総合センターで演技の練習もしております。劇団ともしびの三島さんや、大和市南小学校の畑中教諭に指導を受けています。ステージの両脇には合唱隊の子供たちがいて、本番を想定した練習をしています。合唱では低音、高音パートに分かれて主に5年生が担当しています。本番では後ろに映像が移されたりします。2回目の練習になります。

令和3年度から動き出した創作オペレッタの取り組みですが、ここまでで音楽、映像、異種、小道具などおおよその準備は出来ています。現在は子供たちと本番を想定した通し練習を行っているところです。その中で映像や照明、音楽などのタイミングや立ち位置など修正していくところです。11月11日まで2ヶ月ありませんが、個人的にドキドキしております。子供たちの事ですので、一生懸命頑張ってくれると思いますし、良い11月11日が迎えられるように準備していきたいと思います。また取り組みのゴールは、本公演があります11月11日ではありません。来年度開校する大和小学校の体育館でも本来の行事としてオペレッタをする予定であります。現在、大和総合センターの準備をしとりますが、これをどこまで小学校の体育館で再現できるか、まだ本番を迎えておりませんので難しい所ではありますが、これが学校の文化として根付いていくように学校バージョンに換えていくようにまだ課題が残っております。地域の方々や、子供たちと一緒にオール郡上で取り組んでいく事で、オペレッタの取り組みが大和町の伝統になっていつまでも続いていくように教育委員会でも支援していくように考えている所です。このオペレッタの活動が大和地域を巣立っていく子供たちの為に、そして未来の地域を担っていく子供たちの為に、大和の歴史と地域作りの一端に触れる地域が誇れる学習になればと思います。ご清聴ありがとうございました。



ニコBOX

ニコBOX委員会 美谷添生君

松森正和君 先日の特別支援学校での活動に参加された皆さん、本当にお疲れさまでした。そしてありがとうございました。

佐藤備子君 本日はオペレッタの話、よろしくお願ひします。マイロータリーに登録しました。シークレットセキュリティーの質問でてこずりましたが、出来ました。

寺田澄男君 オペレッタスタッフの皆さん、ご苦労様です。歓迎致します。

藤代昇君 松原様、武藤様、小椋様、ようこそ、歓迎致します。オペレッタの成功を願っております。先週の例会、係の方、ご苦労様でした。

山下誠君 今日は大変な事がありました。しかし、先ほど福井の先方から、“ありました。ご安心下さい”という伝言！事は全財産が入ったカバンを忘れて来たのです。家の車庫で気が付き、死にそうになりました。感謝。

寺田正実君 オペレッタの成功をお祈りします。

東田陽博君 来月の金沢例会に参加してくださいね。

山口里美君 通夜で遅れます。

鷲見啓兒君 先日の補助金事業、稲刈りの為欠席させていただきました。申し訳ありませんでした。

奥村照彦君 ロータリーの事が少しわかってきた!!

美谷添生君 9月に入り、秋を感じる時節となりました。本日は東氏ものがたりの関係の皆様、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

同文 和田良一君、小島正則君、石徹白秀也君、原義明君、畑中知昭君、遠藤正史君、杉山賢君

次週行事予定

9月27日 月見例会

10月4日 会員卓話

10月11日 職場例会（金沢市）

10月29日 IM（郡上市総合文化ホール）

出席報告

出席委員会 石徹白秀也君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数	出席率	出席免除
第2122回	33名	24名	8名		75%	1名
第2123回	33名	20名	5名	7名	84.38%	1名